

県和商の商業教育が輝くために

輝くために

副校長 上野和久

同窓生の皆様にはつづがなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。昨年4月に竹本興次教頭先生の後任で着任しました。どうぞよろしくお願ひします。

さて、全国的に商業高校、商業科が減少する中、本校は新たな商業教育の輝きを求めて、さまざまな取り組みを行っています。特に、同窓生の皆様のご協力の下に実施しているインターンシップ、同窓生の方を講師にお招きして実施する課題研究授業など同窓会のご支援のもとに取り組むことができっております。

このようなさまざまな取り組みが呼び水となり、商業教育関係クラブの活動が活発になってきました。

簿記部においては、全国簿記選手権新人戦西近畿大会団体で、県立神戸商業高校に次いで準優勝という成績を収めました。また、現1年生の2名が日本商工会議所2級に合格しています。同じく、コンピュータ部は全国IT選手権大会西近畿大会新人戦において、関西大学第一高校、市立新港高校を抑えて団体第3位、個人では2年生の松下将大君が西近畿地区第3位(全国40位/90人)の成績を収めています。そして、本年度10月の経済産業省国家試験である初級システマドミニストラーター試験に2年生ながら1名合格しています。珠算部にお

いては、全国高等学校球算競技大会和歌山大会で団体優勝し、個人第1位、戸商業高校に次いで準優勝という成績を収めました。また、ワープロ部では、5年間連続して、生徒が教員になり受講希望されるという市民の方を指導するという公開講座「生徒が先生、ワープロ講座」を開催し、受講者の方々に好評を得ています。最後に、商業研究部は、4名の1年生部員が校内でマーケティング学習をもとに、販売実習を行いました。その体験を振り返る研究報告を作成し、和歌山県生徒商業研究発表大会で研究発表を行い、1年生のチームとしては例のない優秀賞(準優勝)の成果を収めました。

このようにさまざまな取り組みが呼び水となり、商業教育関係クラブの活動が活発になってきました。

名門復活をめざして!

テニス部

和商同窓会の皆様方には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

現在、テニス部の部員数は男子21名、女子11名(平成19年12月3年生を含む)で、ほとんど休みなく練習をしています。



昨春は、陸上部の全入賞や硬式野球部の7年ぶりセンバツ出場の影に隠れてしまいましたが、テニス部女子も2年連続で全国選抜出場を果たしました。十数年にわたる長い低迷期もありましたが、今年度は個人ではありますが、佐賀総体出場や秋田わか杉国体では全員の強豪チームに競り勝ち、少年女子団体4位というすばらしい結果を残してくれました。しかし、チームとしては満足する結果が得られませんでした。また、部員数の減少という課題もあります。

来年度も、1・2年生で優秀な選手がいますので、この選手達を中心に団体でも個人でも活躍してくれることを期待したいと思います。

真珠 雅之

このように商業関係クラブの活動は、本校の商業教育に新たな刺激を与えてくれています。その具体的なものが、地域の方々の交流を目的とした「県和商ふれあい祭」です。これは、昨年11月に課題研究クラス生徒たちが生鮮食品・生花の販売実習、家庭クラブがクッキー販売実習を行ったもので、多くの成果を得ることができました。また、和歌山大学教員との「キャリア教育の実践」について共同研究(三者協働推進事業)に取り組むとともに、専門学校・他大学との学習連携を試験的に実施するなど、商業教育の新たな世界を求め模索しています。

今後とも、本校商業教育を輝かせるために、同窓生の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

小森貴裕 第五位入賞

全国高等学校総合体育大会相撲競技兼全国高等学校相撲選手権大会が、八月二・三・四日に佐賀県玄海町で開催された。

個人戦は各都道府県代表選手一四二名により、二日に予選リーグ、三日には予選リーグを勝ちあがった六四選手で決勝トーナメントが行われた。この大会の個人戦の覇者には高校横綱の称号が与えられるため、選手達にとっては最も目標にしている大会である。

会計科三年の小森貴裕(県予選個人優勝)は決勝トーナメント準々決勝まで進出し、優勝した橋本選手(報徳学園)に敗れたが、堂々の五位入賞を果たした。小森選手は予選三戦を全勝し決勝に進出、全国の並み居る強豪を相手に、持ち味の突き・押しを武器に自分の相撲を取りきり、決勝トーナメントでも三連勝してベスト八に進出した。

本校としては、昨年の津島選手のベスト十六を上回



本校相撲部前監督の武田登全国高体連相撲専門部長から表彰を受ける小森選手

15期生同窓会

平成19年10月7日午後12時50分頃から和歌山城を真向かいにした東急インの4階ロビーでは、少くもあちらこちらで歓声が上がる。笑顔が弾ける。午後2時から始まる県和商15期生の学年同窓会の幹事さん達、代表幹事元生徒会長の黒田和雄君の挨拶。3年11組の担任の小倉博先生、県和商副校長先生、同窓会会長の小川武志さん、同窓会会長の小川武志さんの挨拶。そしてラグビー部の道脇君の日舞。42年前前道脇君は文化祭でどじょうすくいをやって皆を大いに沸かせました。42年後のこの日も舞台を降りるとき着物の裾を踏んでどじょうすくいをやって皆を大いに沸かせました。か

り、歌ありトリクあり司会の間君の軽妙な進行ですごく楽しいものとなりました。42年間の想いを語るにはあまりに短い時間ではありましたが、この学年同窓会をきっかけに各クラスの友との親交が深まり以後の人生の楽しみとなれば幸いです。幹事一

日方通弘



和歌山県立和歌山商業高等学校 昭和41年卒/第15期生 同窓会 平成19年10月7日(日) 於:和歌山東急イン



本校の進路動向

就職に関しては、平成20年1月時点での本校への求人数は県内94社(187名)、県外182社(250名)で、昨年と比較すると県外求人は40%以上増加しているにもかかわらず、県内に限っては14%増に留まっています。一方、就職希望者は縁故や留まりを入れるという理由で、実質的には例年と変わりなく就職状況は厳しかったといえる。現時点では縁故(公務員を含め)83名が内定している。例年のごとく男女とも事務・販売を希望する者が多く、特に医療事務を希望する者が多くなっている。縁故も含め現在3名しか内定していない厳しい状況である。現時点においての入試合格状況は、四年制大学93名、短期大学42名、専門学校83名となっている。専門学校や四年制大学については、合格者の人数は例年とあまり変わらないが、短期大学が四年制大学に移行する傾向がみられるなかで、本校においても短大希望者が減少している。入試形態は指定校推薦、商業科推薦、一般推薦、AO入試が大半を占めている。センター試験は現時点で3名が受験している。

平成20年1月24日現在

学科名	卒業生			就職者			縁故			公務員			就職者合計		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
情報処理科	14	62	76	1	14	15	0	0	0	1	1	2	2	15	17
会計科	49	143	192	8	42	50	1	3	4	1	0	1	10	45	55
国際経済科	21	57	78	1	7	8	1	1	2	1	0	1	3	8	11
合計	84	262	346	10	63	73	2	4	6	3	1	4	15	68	83

学科名	四年制大学			短期大学			専門学校			進学者合計		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
情報処理科	8	15	23	0	8	8	2	17	19	10	40	50
会計科	22	21	43	1	20	21	10	32	42	33	73	106
国際経済科	7	10	17	0	13	13	6	17	23	13	40	53
合計	37	46	83	1	41	42	18	66	84	56	153	209